

西東京市の国民健康保険の状況

1 被保険者の状況

- 高齢化の進展により、被保険者数は減少傾向にあるが、前期高齢者数と割合は増加傾向にある。令和 2 年度は社会保険加入や後期高齢者医療加入が減少し、減少率が下がった。
- 1 人当たり所得は、多摩 26 市平均よりも高い状況にあるが、令和元年度は前年度比で減少した。
- 1 人当たり保険料も多摩 26 市平均より高い水準にあるが、負担率は多摩 26 市平均を下回っている。
- 平成 30 年度と令和元年度の現年賦課分収納率は、26 市平均を下回っており、次年度の滞納繰越分の圧縮のため、収納率の向上に向けた取組が求められる。

① 加入世帯数及び被保険者の状況の推移

	加入世帯数	被保険者数		加入率
			対前年度比	
平成 30 年度	29,458 世帯	43,901 人	▲3.3%	20.3%
令和元年度	29,131 世帯	42,593 人	▲3.0%	20.7%
令和 2 年度	28,909 世帯	41,855 人	▲1.7%	20.3%

② 前期高齢者（70～74 歳）の加入状況の推移（月報）

	前期高齢者数	割合※
平成 30 年度	7,341 人	17.2%
令和元年度	7,692 人	18.5%
令和 2 年度	8,161 人	19.8%

※被保険者数に占める割合

③ 1 人当たり所得金額の推移（決算）

	所得金額	26 市平均
平成 30 年度	1,366,867 円	1,149,258 円
令和元年度	1,211,892 円	1,165,301 円

④ 1 人当たり保険料調定額・負担率（保険料が所得に占める割合）の推移（決算）

	保険料調定額	26 市平均	負担率	26 市平均
平成 30 年度	91,908 円	89,313 円	6.7%	7.8%
令和元年度	92,702 円	91,099 円	7.6%	7.8%

⑤ 収納率（一般・現年賦課分）・口座振替利用率の推移

	収納率	26 市平均	口座振替利用
平成 30 年度	93.1%	94.1%	20.3%
令和元年度	93.7%	93.9%	20.3%
令和 2 年度	93.7%	—	21.8%

2 医療費の状況

- 被保険者数の減少に伴い、医療費総額は減額傾向にある。
- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で医療機関の受診控えが進み、医療費総額が大幅に下がった。
- 高齢化の進展及び医療の高度化により、1人当たりの医療費はここ数年増額傾向にあったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度比で大幅な減額となった。

① 医療費総額の推移（決算）

	医療費総額	対前年度比
平成30年度	14,594,647,506円	▲1.3%
令和元年度	14,327,562,184円	▲1.8%
令和2年度	13,567,408,876円	▲5.3%

② 1人当たり医療費の推移（決算）

	1人当たり医療費	対前年度比	26市平均
平成30年度	331,970円	+2.0%	336,177円
令和元年度	335,762円	+1.1%	344,789円
令和2年度	324,153円	▲3.6%	—

3 法定外一般会計繰入の状況

- 平成30年度の制度改革により、都道府県が財政運営の主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保等の国保運営に中心的な役割を担うこととなった。
- 保険料収納や財源確保等により、法定外一般会計繰入は減額傾向にある。

① 国民健康保険事業費納付金の推移（当初予算）

	医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分	合計
平成30年度	4,334,903千円	1,382,178千円	519,673千円	6,236,754千円
平成31年度	4,192,817千円	1,368,991千円	495,925千円	6,057,733千円
令和2年度	4,158,204千円	1,367,792千円	541,326千円	6,067,322千円
令和3年度	3,981,962千円	1,376,062千円	605,609千円	5,963,633千円

② 法定外一般会計繰入金額の推移（当初予算）

	繰入額	増減額	歳入比
平成30年度	16.9億円	—	8.7%
平成31年度	14.8億円	▲2.1億円	7.7%
令和2年度	14.6億円	▲0.2億円	7.8%
令和3年度	14.1億円	▲0.5億円	7.6%